



vol.24

東急目黒線洗足駅駅長  
もり た やすひろ  
**森田康弘** さん

駅は人と人が出会う場所、  
電車はそれをつなぎます

プロフィール

目黒駅から奥沢駅までの7駅を管轄する目黒線の駅長として2021年に就任。「関わる全ての人を幸せにする」を駅長としての目標に掲げ、お客さまに愛される目黒線の発展を目指す。趣味は散歩とプラモデル作り。

目黒線内で区内にある唯一の駅、洗足駅

目蒲線が2路線に分かれ、2000年に目黒駅から武蔵小杉駅間が目黒線として運行を開始。目黒線という名の路線ですが、実は区内にあるのは洗足駅のみ。そして今年3月、洗足駅は開業から100周年を迎えました。そんな記念すべき年に洗足駅の駅長を務める森田さんに、洗足駅への気持ちを伺うと、「近くに学校もありますが、閑静な住宅街にある主に地域住民が利用される駅です。また、皇后・雅子さまの生家があるまちの駅としても知られ、今年のご成婚30周年にも当たり、駅の開業100周年とも重なって、駅長としてとても感慨深いですね」。

安全運行の要は、駅員が元気に笑顔で働くこと

駅長の業務は、ラッシュ時の運行や乗降客の状況など全体をみながらの指示出し、駅員の勉強会や会議等があり、その合間に管轄7駅を巡回、デスクワークと多忙を極めます。中でも、駅長として最も気を配っていることのひとつが駅員の健康。「出勤時には駅員から体調の報告を受けますが、7駅巡回業務では私から声を掛け、体調管理も含めて駅員と話をします。言葉を交わすことで、



▲1958年ごろの洗足駅の駅舎。駅西側で交差する環状七号線の踏切を解消するため、昭和40年に地下化され、現在に至る

心のケアができると考えています。お客さまが安全安心にご利用いただくためには、駅員が元気であることが何より大切ですから」。

森田駅長が鉄道員になったきっかけは、子どもの頃の駅員さんとの交流からだそう。そんな思い出を胸に上京後、鉄道会社に就職。駅員、車掌、そして運転士としての30年間などを経て、駅長に。鉄道の仕事をしていてよかったことを聞くと、「お客さまから『ありがとう』『おはようございます』などと声を掛けてもらえること。改札でのお客さまとの関わりは楽しくうれしいものでした。そこから仕事のやりがいを感じ、お客さまのために頑張ろうという気持ちが生まれました。駅長という立場では、駅員がさまざまな知識を得て業務に取り組み、スキルを上げ成長していく姿を見るとうれしく思います」。

今もこれからも、鉄道や駅が人や地域をつなぐ

洗足駅の開業だけでなく、昨年9月に東急電鉄も100周年を迎えました。「この時期この場所に、駅長としていただけることに感謝しかありません。東急電鉄が駅をつくり電車を走らせ、お客さまに乗っていただき、発展してきました。駅は、さまざまな人と人が出会い交流する場所。目黒線は、私が管轄する7駅でも品川・目黒・大田・世田谷の5区にあり、近隣の区をつなぐ路線です。さらに東京メトロ南北線・都営三田線・埼玉高速鉄道線・相鉄線との相互直通運転で、神奈川県から埼玉県までもつないでいます。これからも、皆さまにどんどん駅に来て電車をご利用いただき、地域と一緒に発展できればいいですね」と優しい笑顔で語ってくれました。

7月15日から

ひとめぐり movie

インタビューのこぼれ話などを、区公式YouTubeチャンネル「めぐろTV」(コード①)でご覧になれます。



SDGsトレインに  
新しい区のポスターが登場します

企画経営課 ☎5722-9106、☎5722-6134



区は、SDGs(持続可能な開発目標)の普及啓発のため、東急グループが運行する「SDGsトレイン～美しい時代へ号」に、区のSDGsポスターを掲示しています。

ポスターは、東横線・田園都市線・目黒線の3路線に掲示されます。今回は、「ようこそ目黒区へ～もしも歴史上の偉人が現代にやってきたら」というテーマのもと、区のSDGsの取り組みなどを物語仕立てで紹介します。物語は、区HP(コード②)でご覧になれます。

掲示期間(予定) 7月17日～10月15日



9月3日(日)13:00から開催

新作落語コンテスト  
決勝大会

観覧  
募集

目黒区民まつり実行委員会事務局

(文化・交流課交流推進係内、☎5722-9278、☎5722-9378)

新作落語コンテストの会場観覧者を募集します。決勝進出者による、「目黒の坂」をお題にした新作落語を上演するほか、審査員の九代目春風亭柳枝氏と三遊亭れん生氏による落語の披露もあります。

決勝大会は、区公式Youtubeチャンネル「めぐろTV」でも配信(アーカイブ配信あり)します(コード③)。詳細は、区HP(コード④)をご覧ください。



▲昨年、最優秀賞を受賞した楠木亭遊人さん



場めぐろパーシモンホール小ホール  
(八雲1-1-1 区民キャンパス内)

定100人程度(抽選)

申区HP(コード④)、ハガキ・FAX(新作落語コンテスト観覧希望と明記の上、住所、氏名、電話、同伴者の氏名(2人まで)を記入)で、7月15～31日(必着)に、目黒区民まつり実行委員会事務局(〒153-8573目黒区役所文化・交流課内(住所不要)、☎5722-9378)へ